

# 飯塚市議会だより

No. 24

2011.9.1

年4回発行：飯塚市議会 〒820-8501 飯塚市新立岩5番5号 電話 22-0214 FAX 28-1251  
ホームページ：http://www.city.iizuka.lg.jp/giji/ メールアドレス：giji@city.iizuka.lg.jp

## 市議会議員改選後 初の定例会を開催

(平成23年第3回定例会)

平成23年第3回定例会を6月17日から7月7日まで開き、市長提出の平成23年度飯塚市一般会計補正予算(第2号)など13議案、議員提出の意見書案2件、請願1件、合わせて16件を審議しました。

その結果、市長提出議案10件を原案可決、1件を承認、人事議案2件に同意、意見書案2件を原案可決、請願1件を継続審査としました。主な議決内容は次のとおりです。

### 市長提出の議案

●原案可決したもの  
●平成23年度飯塚市一般会計補正予算(第2号)

中心市街地活性化事業費等の補助事業に伴う事業費の変更により既定の予算総額に8077万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を583億361万9千円とするものです。

●飯塚市税条例の一部を改正する条例  
東日本大震災の被災者救済のため、個人住民税・固定資産税の控除

ができるよう税条例の一部を改正するものです。

●飯塚市文化会館条例の一部を改正する条例  
飯塚市文化会館の附属設備及び冷暖房設備の利用料金を後納とするこ

とができるように条例の整備を行うものです。

●土地の処分の議決事項の変更  
(ケンコーコム株式会社工場用地敷)  
津島工業団地のケンコーコム株式会社工場等用地敷の使用貸借特約期間を、平成31年11月30日まで延長するものです。

●平成23年度飯塚市一般会計補正予算(第3号)

飯塚市庁舎問題検討委員会設置等に係る経費を計上するため予算総額に161万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を583億523万5千円とするものです。

●飯塚市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例  
飯塚市役所本庁舎の方向性及び計画策定等に関して調査審議するた

め、飯塚市庁舎問題検討委員会を設置するものです。

### 議員提出の議案

原案可決したもの

●原子力発電からの脱却に関する意見書の提出

●東日本大震災の復興支援と総合的な復興ビジョン策定を求める意見書の提出

●公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書の提出

●原子力発電からの撤退とエネルギー政策の転換を求める意見書の提出

●少人数学級推進、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出

●中学校歴史・公民教科書採択に関する意見書の提出

これら6件の意見書は各関係大臣、関係機関等に送付しました。

### 請願

継続審査としたもの

●明星寺地区採石場周辺市道における大型車両(車幅2.5m以上)の通行禁止を求める請願

### 人事議案

人権擁護委員に推薦することに同意

酒見 一夫 氏

### 第3回定例会会期日程

6月17日(金)

- ・会期の決定
- ・行政報告
- ・各委員長報告、質疑、討論、採決
- ・議案の提案理由説明

6月27日(月)

- ・一般質問

6月28日(火)

- ・一般質問

6月29日(水)

- ・一般質問

6月30日(木)

- ・一般質問
- ・議案に対する質疑、委員会付託
- ・追加議案の提案理由説明、質疑、委員会付託
- ・請願の委員会付託

7月4日(月)

- ・常任委員会(経済建設)

7月5日(火)

- ・常任委員会(総務・市民文教)

7月7日(木)

- ・委員長報告、質疑、討論、採決
- ・常任委員会の閉会中の継続審査事件
- ・人事議案の提案理由説明、質疑、討論、採決

- ・議員提出議案の提案理由説明、質疑、討論、採決

- ・報告事項の説明、質疑
- ・署名議員の指名

## 6月定例会における市長提出議案の審査結果

議案番号	議案名	審査結果
5 1	平成23年度飯塚市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
5 2	飯塚市税条例の一部を改正する条例	原案可決
5 3	飯塚市文化会館条例の一部を改正する条例	原案可決
5 4	土地の処分の議決事項の変更(ケンコーコム株式会社工場等用地敷)	原案可決
5 5	土地の処分の議決事項の変更(ケンコーコム株式会社工場等用地敷)	原案可決
5 6	財産の取得(消防ポンプ自動車)	原案可決
5 7	市道路線の廃止	原案可決
5 8	市道路線の認定	原案可決
5 9	専決処分の承認 (平成23年度飯塚市小型自動車競走事業特別会計補正予算(第1号))	承認
6 0	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めること	同意
6 1	平成23年度飯塚市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
6 2	飯塚市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
6 3	監査委員の選任につき議会の同意を求めること	同意

## 一般質問

市の一般事務について、15名の議員が一般質問を行いました。その一部を抜粋し、要旨を掲載します。

### 明石 哲也 議員

#### 車いすテニス大会について

【議員】飯塚国際車いすテニス大会における改善点は何か。

【社会・障がい者福祉課長】運営面においては、多くのボランティアが大会の運営を支える「イイツカ方式」が非常に高い評価を受けているが、世界最高峰の国際大会とするためには、観客が楽しめるような観客席の工夫や競技環境のハード面の改善が必要であると考えている。

【議員】国際大会を行うにふさわしい会場となるよう、関係者と協議・検討を行い、施設等の充実を図っていただきたい。



車いすテニス大会

#### 企業誘致について

【議員】企業誘致の対象業種については、どのように考えているのか。

【企業誘致推進室主幹】名古屋事務所開設当初は自動車関連企業を中心に誘致活動を展開してきたが、現在は幅広い業種にアプローチしている。

【議員】企業が立地しやすい優遇策等はあるのか。

【企業誘致推進室主幹】企業立地促進補助金や企業の初期投資を軽減する使用貸借特約付分譲制度等の優遇策がある。

【議員】今以上に民間企業のニーズに素早く対応できる体制づくりを行い、1日も早い工業団地の完売を目指してほしい。

## 佐藤 清和 議員

### 小中一貫教育について

【議員】説明会に参加した保護者から説明がいつも同じであると不満の声が上がっている。今後どのように改善するのか。

【学校施設整備推進室主幹】保護者代表の方の意見やアンケート調査の結果を参考に、できる限り工夫を図っていきたい。

【議員】施設一体型の校区と施設分離型の校区ではそれぞれ違う説明をする必要がある。特に施設一体型では建設候補地を示す前に、保護者の理解を得なければ、混乱を招くことが危惧される。

### 中心市街地活性化について

【議員】中心市街地の活性化のため、どのような取り組みを行うのか。

【中心市街地活性化推進課長】まちなか居住の推進、市街地の整備改善、都市福利施設の整備、商業の活性化、公共交通機関の利便性の向上を総合的かつ一体的に推進していく。

【議員】中心市街地以外の地域の活性化をどう考えるか。

【中心市街地活性化推進課長】中心市街地と各地域の拠点との連携により市全体の活性化につながるものと考えます。

【議員】中心市街地活性化の必要性については認めるが、素案を見る限り計画どおりに活性化できるとは考えにくいため、更なる検討が必要である。

## 瀬戸 元 議員

### 中心市街地活性化基本計画について

【議員】総事業費約120億円の財源内訳はどうなっているのか。

【中心市街地活性化推進課長】市が約25億5千万円、国が約43億円、県が約24億8千万円、民間事業者が約26億7千万円で試算している。

【議員】財政状況の苦しい中で、市の予算からも25億5千万円の負担がある。この事業が市全体の発展に繋がる有意義なものとなるよう、しっかりと取り組んでほしい。

### 災害の危機管理について

【議員】本市の地域防災計画はどのような災害を想定しているのか。

【総務課長】計画においては風水害、地震、大規模事故等を想定しているが、過去の経験から台風や水害に重点を置いたものとなっている。

【議員】東日本大震災を受けて、防災計画をどのように見直すつもりか。

【総務課長】風水害に重点を置くことは変わらないが、地震対策、原発事故等の対策についても見直しの必要がある。

【議員】今回のような災害がいつ起こるか分からない。市民の生命と財産を守るためにも、防災計画の見直しについては積極的に取り組んでほしい。

## 岡部 透 議員

### 都市計画道路の見直しについて

【議員】中心市街地活性化事業で都市計画道路の未着工部分を扱う計画だが、実施場所はどこか。

【都市計画課長】東町橋左岸側から千鳥屋本店横昭和通り交差点までの193mを新設、同交差点から公設市場までの140mの区間を幅員16mに拡幅整備する。

【議員】現在の幅員より3.5mの拡幅となるが、どのように整備するのか。

【都市計画課長】現在検討中であるが、永楽商店街側へ拡幅する可能性が高い。

【議員】中心市街地活性化事業の期限内

に完成するのか。

【都市計画課長】拡幅部分については、平成27年度までに整備する計画である。

### 飯塚緑道公園について

【議員】周辺住民や自治会の理解を求めするため、公園管理や利用方法について協議の場を持つ必要があるのではないかと。

【都市計画課長】関係自治会との話し合いの中で有効な利用促進が図れるように管理等について検討していきたい。

【議員】緑道公園の施設については多くの改善点がある。使い勝手が良い公園となるよう中心市街地活性化事業の中で今後どのように整備するのか。

【都市計画課長】パブリックコメントやワークショップなどを開催し、その結果を踏まえ、できるだけ多くの意見を反映させた緑道となるように整備したい。



飯塚緑道公園

## 吉田 健一 議員

### コミュニティバスの運営について

【議員】コミュニティバスの現状の路線について、市民から見直しを求める声があるが、このような市民の意見、要望はどのように運行に反映されているか。

【総合政策課長】現状の運行ルートやダイヤ作成時には、それまでの路線、運行便、停留所それぞれの利用状況の詳細な分析結果を基に、市民のみなさんから寄せられた要望等を踏まえた中で原案を作成し、各地区選出の委員を含めた飯塚市地域公共交通協議会において決定している。

【議員】バスの利用者は自家用車等が無く自身での移動ができない高齢者の方や、他の公共交通機関のない地域の方々と思われるが、利用状況はどうなっているか。

【総合政策課長】22年度にバス利用者を対象に行ったアンケート結果では、利用者の約8割が女性で、60歳以上の高齢の方が全体の8割を占めるといった状況が確認されている。また、通院、買物がバスの利用目的の6割を占めている。

【議員】利用者の6割が通院、買物で利用しているのであれば、病院、企業、スーパー等から協賛金を募り、国の補助金終了後の運営を手助けしてもらおうことや、バスへの広告掲載やスポンサー企業募集に併せてのルート変更や停留所新

設など、市民に喜ばれ利用者増となる運営に注力してほしい。



コミュニティバス

## 永末 雄大 議員

### 市の節電取り組みについて

【議員】福島原発の事故の反省から早急に自然エネルギー推進に舵をきるべきだと考える。その実現のためにいっそうのCO<sub>2</sub>削減、節電に取り組まねばならないが、市の取り組みの現状はどうか。

【環境整備課長】地球温暖化対策実行計画により、5年間でCO<sub>2</sub>排出量を5%削減、改正省エネ法により、エネルギー使用量を年平均1%削減という数値目標をたてて取り組んでいる。

【議員】原発事故の影響で電力供給が足りないことも心配されているが通年と違う取り組みはしていないのか。

【環境整備課長】クールビズの取り組み

期間を例年より拡大して実施するとともに、内容の見直しを検討している。

### グリーンニューデールについて

【議員】環境問題と地域の雇用問題を同時に改善するため、グリーンニューデールを推進すべきだと考えるが、本市の取り組み状況はどうか。

【環境整備課長】地球温暖化対策実行計画の策定によりグリーンニューデール基金の活用が可能となったので、市庁舎の節電に関してこの基金を活用するよう、県との協議を進めている。

【議員】ぜひとも雇用創出と環境対応を重視し、市庁舎のみでなく、自然エネルギーや河川の水質浄化などに一所懸命取り組んでほしい。



地球温暖化対策として行われた緑のカーテンエコプロジェクト

## 道祖 満 議員

### まちづくりについて

【議員】まちづくり協議会の設置時期を

どのように考えているか。

【市民活動推進課長】現在、市内12地区のうち3地区で協議会、7地区で準備会の活動が行われている。残りの2地区においても準備会設置に向けた協議が進められており、今後は12地区それぞれと連携を進め、協力を得ながら平成24年度中にはすべての地域において、まちづくり協議会設置を目指したい。

【議員】まちづくり協議会をつくり、まちづくりを進めていく上では自治基本条例の設置は重要であると考えますが、いつ設置するのか。

【企画調整部長】自治基本条例はその作成過程からの市民参加が重要であるが、昨年開催した市民学習交流会への参加者が少数であったことから、今年度は市民の機運の醸成に努めていく。

制定時期についてはできるだけまちづくり協議会設置に合わせられるよう努力していきたい。

### 地域経済の活性化について

【議員】颯田の中小一貫校建設工事は全体工費が約33億円もの事業であるが、これを地元経済の活性化にどう結び付けていくか。

【契約課長】地域経済の活性化は市の重要施策の一つであり、従来より、市発注の建設工事等については地元企業に出来るものは地元へ発注する方針としている。

## 守光 博正 議員

### 水害時の避難対策について

【議員】水害被害等に関して、避難時に既に自宅周辺の道路等が冠水し避難所等へ行けない場合の対策はどうなっているか。

【総務課長】本市の水害被害の特徴として内水被害が想定されるが、内水被害においては家屋の倒壊、流出の発生は考えにくく、家屋内の高い場所への避難がより安全であると考えるので二階建ての方は二階に、平屋の方は近くの二階建てへの避難などが必要である。平時よりご近所間で避難行動を定めていただくことが肝要であると考えている。

### 蜂アレルギーへの対応について

【議員】蜂に刺された経験のある人が同じ種類の蜂に再度刺された際に体内で激しいアレルギー反応（アナフィラキシーショック）を起こし、特殊な体質をもつた人は命にかかわる全身症状をひきおこす蜂アレルギーについて、本市の児童生徒の状況は把握しているか。

【学校教育課長】蜂による特殊なアレルギーを持つている児童生徒は小学校で4名、中学校で6名と確認している。このうち中学の1名についてはアドレナリン自己注射薬を常備しており、蜂にさされた場合は早急にアドレナリン自己注射を打ち、救急車を要請して病院へ移送するようにしている。

## 江口 徹 議員

### 東日本大震災への対応について

【議員】原発事故対策において、県内で太宰府市にしかないモニタリングポストを本市にも設置するよう国県へ働きかけるべきではないか。

【総務課長】県では計画の見直しの中でこの件について議題が上がっており、設置するという方向が決まれば、本市への設置を要望していきたいと考えている。

【議員】決まったらではなく、市民生活を守るため本市に設置するよう市から積極的に働きかけるべきである。

### 八木山バイパスの無料化を

【議員】無料化を国県へ働きかけると言っていたが、実際は行っていないと言いきちんとやらないと無料化へ進まない。今後はどのように取り組むのか。

【国道対策室主幹】関係自治体で構成する筑豊横断道路建設促進期成会で協議し、進めていきたいと考えている。



八木山バイパス

## 将来を想定した市庁舎の

### 建て替え論議を

【議員】百貨店からコンビニに変わったように市役所も仕事の仕方次第で大きく変わるはずである。庁舎建て替えの検討の前に、サービスの提供の仕方をまず考えるべきではないのか。

【総務部長】建て替えること決まったわけではなく、議員の意見も含めて、今後慎重に対応していきたいと考えている。

## 秀村 長利 議員

### 合併協定項目の順守を

【議員】1市4町の合併時に同意された合併協定項目はどのような内容か。

【総合政策課長】合併の方式、合併の期日、新市の名称、新市の事務所の位置等の基本的事項のほかに市民に直接関係のある税や各種サービス等40項目にわたり協定がなされている。

【議員】合併協定項目の拘束力についてどのように考えているのか。

【総合政策課長】司法による強制的実現や罰則による強制といった法的拘束力はないと考えるが、最大限実行するよう努力する必要があると認識している。

【議員】合併協定項目の変更もしくは不履行となれば、政治的な責任が首長に発生するとの県の見解もある。合併協定項目をどのように認識しているのか。

【総務部長】廃置分合の議決の前提となるものであり、合併を法的に決定する上での重要な判断材料であることから、特段の理由もなく変更、不履行とすることは避けなければならないと考える。

【議員】合併協定項目の中で新庁舎の位置は穂波町地内となっている。これは当然順守されるべきものと考えているが、市長はどのように考えているのか。

【市長】庁舎については、改修なのか、建て替えなのか、まだはつきりしていない。市民や議会の意見をしっかりと聞きながら進めていきたいと考えている。

## 八兒 雄一 議員

### 保育行政について

【議員】本市には待機児童がいらないと言われるが、入所はどのような状況か。

【保育課長】公立12園、私立18園、計30園の定員2815人に対し、2929人が入所している状況である。

【議員】待機児童はいなくても簡単に入所できないのが現状と考える。入所者が定員の100%を超えない運営を行い、子育て支援に全力をあげて努力してほしい。

### 観光行政について

【議員】ボタ山に関する企画商品の検討は行っていないのか。

【商工観光課長】ボタ山の名称を使った食事メニューやスイーツ等はあるが、企画商品はまだ開発されていない。今後B級グルメや商品等が検討、開発されれば

飯塚伝説ホルモンと併せて情報発信して  
いきたいと考えている。



芳雄橋から望むボク山

### 防災対策について

【議員】東日本大震災で活用された被害者支援システムを導入しているのか。  
【総務課長】このシステムは阪神・淡路大震災時に西宮市の職員が開発したものである。被災者の情報を統括管理でき、災害に関する事務を一元的に行なえ、事務の軽減を図られるものであるが、本市においては導入に至っていない。  
【議員】このシステムは無料であり、本市においても早急に導入してほしい。

### 梶原 健一 議員

#### 農業振興策について

【議員】飯塚地域担い手・産地育成総合支援協議会では農業振興に向けてどのような活動が行われているのか。  
【農林課長】「元氣な担い手、もうかる農

業」をキャッチフレーズに、協議会内にある担い手育成部会や生産振興部会など各部会で研修、実態調査、技術指導等の取組みが行われている。

【議員】農業振興における深刻な問題の一つに耕作放棄地の問題がある。本年度耕作放棄地の解消のために予算化された補助金の対象地域はどこか。

【農林課長】農業委員会が耕作放棄地全体調査等により整理した農地や、平成22年度戸別所得補償モデル対策および平成23年度農業者戸別補償制度において調整水田等の不作付地の改善計画を提出したほ場が対象である。

### コミュニティバスについて

【議員】コミュニティバスに期待する機能をどのように考えているのか。  
【総合政策課長】交通弱者の生活を支え、市内各地から鉄道や民間路線バスへの乗り継ぎを円滑にし、利便性の向上を図ることであると考えている。  
【議員】コミュニティバスは交通弱者を支える大きな役割がある。市民ニーズに応えるような運営を行い、市民の快適な生活を実現してほしい。

### 松本 友子 議員

#### 統一地方選挙（飯塚市議会）

#### 議員一般選挙）について

【議員】投票率が下がった要因についてどのように考えているか。

【選挙管理委員会事務局長】防災行政無線での啓発、街頭啓発、チラシの配布等を行ってきたが、東日本大震災の影響で市民の関心が震災に向かったことやそれによる選挙運動の自粛が大きな要因と考えられる。

【議員】今後の投票率向上のための課題についてどのように考えているか。

【選挙管理委員会事務局長】今後は若年層の投票率向上のための啓発方法や投票しやすい環境づくりについて考えていきたい。



統一地方選挙街頭啓発

【議員】経費の軽減、投票率向上のためにも政令市のように県知事、県議及び市議会議員選挙を1回で実施することはできないのか。

【選挙管理委員会事務局長】臨時特例法の中で決定されているので現行の制度では実施できないが、投票が1回で済むことにより選挙人の負担軽減、さらには経

費も削減されるため、できることならその方向に持っていけるように関係機関に意見を述べていきたい。  
【議員】市民の皆さんが投票しやすい環境、制度づくりを行ってほしい。

### 田中 裕一 議員

#### 学校現場における

#### 障がい者支援について

【議員】学校現場での発達障がいの早期発見のためにどのような取り組みをされているのか。

【学校教育課長】各学校において学習状況や行動観察、面接、心理検査を組み合わせたながら発達の様子を知り、学習や生活上の課題を明らかにするように努めている。

【議員】発達障がいの可能性のある児童生徒に対してどのように対応しているのか。

【学校教育課長】特に気になる児童生徒には保護者に相談を行い専門家への診断を進めるなどしている。また、診断結果をもとに特別支援教育及び通級指導教室での指導を検討し、その児童生徒にあった教育を進めることとしている。

### コミュニティバスの運用について

【議員】現行の運用に対する課題や問題点はどのようなものがあると考えているか。

【総合政策課長】これまでの実証運行か

ら路線、便、バス停ごとの利用格差があることや需要の高い拠点施設間では連携の強化が必要であると考えている。

【議員】住民の方が利用しやすい便利なコミュニティバスになるよう強く要望する。

## 宮嶋つや子 議員

### 地震対策と子どもの安全について

【議員】保育所（相田、徳前、菰田）、幼稚園（幸袋、庄内、額田）及び各小中学校の耐震化対策はどのような状況か。

【保育課長】菰田、徳前は統廃合して建替える計画を進めている。相田は平成24年度の耐震診断により対応したい。

【教育施設課長】幸袋は耐震診断の対象外で庄内は耐震化が完了している。額田は公立保育所・幼稚園あり方検討委員会の答申を勘案し対応する。現在地にて存続する小中学校は耐震補強工事、大規模改造工事を平成27年度までに完了するようになっている。

【議員】子どもの命を守るために耐震化を直ちに行うべきである。

### 明星寺地区の自然と

#### 生活環境について

【議員】嘉飯山砂利建設は無許可設置、無許可営業をするなど、廃掃法の規定の「不正・不誠実な行為をおこなうおそれがある」と認めに足りる相当の理由に該当する。産廃中間処理業の許可をしないよう県に要求すべきだ。

【市民環境部長】自然環境保全条例に基づいて監視指導を行い、県と情報を共有し適切に対応していきたい。

【議員】自然と生活環境を守るために「産廃許可するな、採石許可を取り消せ」という住民の声を県に強く要求していきたい。

### 第2回臨時会について

平成23年4月24日に執行された飯塚市議会議員一般選挙後、初の本会議（臨時会）を5月16日から5月23日まで開き、正副議長選挙が行われ、議長に兼本鉄夫議員、副議長に藤本孝一議員が当選しました。

また、議会運営委員会・各常任委員会の委員の選任が行われました。委員会の名簿については左記のとおりです。

委員会名	委員名 (◎委員長 ○副委員長)
議会運営委員会	◎江口 徹、○永末 雄大 宮嶋つや子、平山 悟、 道祖 満、守光 博正 吉田 健一、明石 哲也 松延 隆俊
総務委員会	◎上野 伸五、○守光 博正 兼本 鉄夫、宮嶋つや子 永末 雄大、明石 哲也 田中 博文
厚生委員会	◎田中 裕二、○石川 正秀、 藤本 孝一、江口 徹 佐藤 清和、藤浦 誠一 森山 元昭
市民文教委員会	◎坂平 末雄、○古本 俊克 八兒 雄二、松本 友子 梶原 健一、鯉川 信二 岡部 透
経済建設委員会	◎平山 悟、○吉田 健一 道祖 満、小幡 俊之 秀村 長利、松延 隆俊 瀬戸 元

臨時会における議案の審査結果については次のとおりです。

## 市長提出の議案

### 原案可決したもの

●議案第38号 損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解（市道上の人身傷害事故）

### 承認したもの

●議案第39号 専決処分承認（平成22年度飯塚市一般会計補正予算（第6号））  
●議案第40号 専決処分の承認（平成23年度飯塚市一般会計補正予算（第1号））  
●議案第41号 専決処分の承認（平成23年度飯塚市下水道事業会計補正予算（第1号））

●議案第42号 専決処分の承認（飯塚市国民健康保険条例の一部を改正する条例）

●議案第43号 専決処分の承認（飯塚市国民健康保険条例の一部を改正する条例）

●議案第44号 専決処分の承認（支払督促申立てに対する異議申立て（学校給食費請求事件））

●議案第45号 専決処分の承認（支払督促申立てに対する異議申立て（学校給食費請求事件））

●議案第46号 専決処分の承認（支払督促申立てに対する異議申立て（学校給食費請求事件））

●議案第47号 専決処分の承認（支払督促申立てに対する異議申立て（学校給食費請求事件））

●議案第48号 専決処分の承認（支払督促申立てに対する異議申立て（学校給食費請求事件））

●議案第49号 専決処分の承認（支払督促申立てに対する異議申立て（学校給食費請求事件））

●議案第50号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第51号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第52号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第53号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第54号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第55号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第56号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第57号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第58号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第59号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第60号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第61号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第62号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第63号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第64号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

●議案第65号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

## 議員提出の議案

### 原案可決したもの

●議員提出議案第12号 飯塚市議会委員会条例の一部を改正する条例

## 高石 双樹 氏

### 同意したもの

●議案第50号 教育委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

教育委員会委員の選任に同意

### 議会を傍聴してみませんか。

本会議や委員会（委員会は人数制限あり）はどなたでも傍聴できます。

議場へは3階の傍聴席入口のほか、4階からもご入場いただけます。

次回定例会は9月8日（木）に開会の予定です。

日程の詳細については、議会ホームページをご覧ください。議会事務局（電話0948-22-0214）までお問い合わせください。

### 議会に関する情報を ホームページで公開しています

議会のホームページでは、会議の日程や議員名簿、委員会名簿のほか、本会議の会議録や、それぞれの常任委員会や議会運営委員会、特別委員会の会議録なども掲載しています。

#### ●ホームページアドレス

<http://www.city.iizuka.lg.jp/giji/>

## 平成22年度の政務調査費収支・実績に関する報告を公表します

政務調査費は会派または議員個人を対象とし、議員1人あたり月額4万円が交付され、条例に定める用途基準に従って使用することとなっています。また残余がある場合は、その額を返還することとなっています。この報告書は議会事務局で閲覧できます。

なお、政務調査費については平成23年度より廃止となりました。

#### ● 会派に交付

会派名	所属議員名	交付額	残額
公明党	柴田加代子・田中裕二・人見隆文・八見雄二	1,920,000	403,884
新政会	瀬戸元・古本俊克・松本友子	1,440,000	0
日本共産党	川上直喜・楡井莞爾	960,000	97,660

#### ● 議員個人に交付

議員名	交付額	残額	議員名	交付額	残額
東 広 喜	480,000	2,897	道 祖 満	480,000	0
安 藤 茂 友	480,000	0	永 末 壽	480,000	288,983
市 場 義 久	480,000	159,475	永 露 仁	480,000	0
上 野 伸 五	480,000	0	西 秀 人	480,000	145,157
岡 部 透	480,000	94,228	濱 本 康 義	440,000	322,792
小 幡 俊 之	440,000	0	原 田 佳 尚	480,000	21,555
梶 原 健 一	480,000	330,037	秀 村 長 利	480,000	360,672
兼 本 鉄 夫	480,000	127,491	藤 浦 誠 一	480,000	27,207
木 下 昭 雄	480,000	125,627	藤 本 孝 一	480,000	0
鯉 川 信 二	480,000	111,497	森 山 元 昭	480,000	55,016
佐 藤 清 和	480,000	0	吉 田 義 之	480,000	380,290
田 中 博 文	480,000	0	芳 野 潮	480,000	159,217
田 中 廣 文	480,000	287,291			

※会派名・議員名共に50音順